

2019年度 神戸学院大学 経済学研究科 入試案内

以下の入試案内を参考にしてください。ただし、経済学研究科の大学院生として修学するために必要な専門知識や思考力・応用力・総合力を問うので、参考文献に記載されていない事項が入試問題に含まれる場合があります。

経済学専攻

筆記専門科目	入試案内
理論経済学	ミクロ・マクロ経済学の学部レベルでの理解が確実かどうかを問います。 参考文献：中谷巖(2007)『入門マクロ経済学』第5版、日本評論社。 西村和雄(2011)『ミクロ経済学』第3版（現代経済入門）、岩波書店。
統計学	統計学の応用分野である計量経済学を学ぶために必要な統計数理の基礎について問います。 参考文献：P. G. ホーエル(1978)『入門数理統計学』浅井晃・村上正康共訳、培風館。
日本経済史	経済史で議論されているトピック（とくに、戦後日本経済史の部分）について説明できるかを問います。 参考文献：宮本又郎（2012）『日本経済史』改訂新版、放送大学教育振興会。
西洋経済史	西洋経済史に関する基礎用語を理解し、各国の経済発展についての大まかな流れを理解していれば解答できる問題の出題に心がけています。 参考文献：J・リチャード・ヒックス(1995)『経済史の理論』（講談社学術文庫） 新保 博・渡辺 文夫訳、講談社。
経済政策	経済政策の基礎理論や制度・実践について問います。 参考文献：山田節夫(2014)『ベーシック経済政策』第2版、同文館出版。 塩澤修平(2013)『経済学・入門』第3版（有斐閣アルマ）、有斐閣。
日本経済論	現代日本経済の主要な論点について、基本的な理解力と論理的な説明力を問います。 参考文献：八代尚宏（2017）『日本経済論・入門』新版、有斐閣。
北米経済論	アメリカの産業、貿易、財政・金融システムの現状と歴史を理解し、政策の役割、効果をミクロ・マクロの観点から説明できるかを問います。特に、金融危機、所得格差、中間層の没落、製造業の競争力などのトピックスを重視しています。 参考文献：宮田由紀夫・玉井敬人（2018）『アメリカ経済論入門』第2版、晃洋書房。

筆記専門科目	入試案内
国際貿易論	<p>国際貿易の基礎理論と貿易政策の問題を理論的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：クルーグマンほか(2017)『クルーグマン国際経済学 理論と政策 〔原書第10版〕上:貿易編』、丸善出版。</p> <p>大川昌幸(2015)『コア・テキスト国際経済学 第2版』、新世社。</p>
財政学	<p>所得税、法人税、消費税の仕組みに関する基本的知識を問います。</p> <p>参考文献：税務大学校『税務大学校講本（平成30年度版）』（所得税法、法人税法、消費税法）、税務大学校HP。</p>
金融論	<p>貨幣・金融仲介機関・金融政策などに関する標準的な知識があるかを問います。</p> <p>参考文献：大野早苗他(2007)『金融論』有斐閣ブックス</p> <p>酒井良清・前多康男(2003)『新しい金融理論』有斐閣</p>
産業組織論	<p>産業組織論の基礎を理解し、理論を用いて企業行動などを説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：泉田成美・柳川隆(2008)『プラクティカル産業組織論』（有斐閣アルマ）、有斐閣。</p>
企業経済論	<p>企業経済論では、経営管理の基礎理論を中心に出题します。テイラーの科学的管理法、マックス・ウェーバーの官僚制組織論、人間関係論、バーナードの組織論等、主要な諸理論について論理的に論述できるかを問います。また、多国籍企業の戦略課題、BOP ビジネス、CSR、企業倫理、中小企業論といった現代企業の諸課題についても理解していることが好ましいです。そして、企業と技術発展についての議論についても理解しておいてほしいと思います。例えば、ITによって経営はどう進化したか、そして、人工知能(AI)の導入によって、経営はどのように進化していくのかについての議論を理解しておいてください。</p> <p>参考文献：佐久間信夫編著(2017)『よくわかる企業論(第2版)』ミネルヴァ書房。</p> <p>佐久間信夫・大平義隆編著(2016)『新 現代経営学』学文社。</p>
経済情報システム論	<p>IT パスポート試験程度の情報技術に関する基礎的な知識があり、それらを説明できるかどうかを問います。</p>

経営学専攻

筆記専門科目	入試案内
<経営学理論系>	
経営学原理	<p>経営学における基本的な論理とその変遷、また経営の実践について論理的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：上林憲雄ほか（2007）〔編著〕『経験から学ぶ経営学』有斐閣。</p>
中小企業論	<p>中小企業論に関する基礎的・基本的な知識の理解度を確認し、基本的事象について簡潔・的確に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：植田浩史ほか（2014）『中小企業・ベンチャー企業論』新版（有斐閣コンパクト）、有斐閣。</p>
<経営管理系>	
労務管理論	<p>労務管理の基本的な理論を理解し、制度・実践について論理的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：松田裕之(2006)『物語 経営と労働のアメリカ史 —— 攻防の1世紀を読む —— 』現代図書。</p>
経営戦略論	<p>経営戦略の基本的な理論を理解し、経営戦略の実践について論理的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：産能大学経営研究会(2000)『現代企業と経営』産能大学出版部。 ゲイリー・ハメルほか(1995)『コア・コンピタンス経営』日本経済新聞社。</p>
マーケティング論	<p>マーケティング論の基本的な理論を理解している上で、特にプロモーションに対する実践例（キャラクター活用、地域ブランド政策）などが論理的に説明できることを問います。また、ヒット商品に関する考察ができることも問います。</p> <p>参考文献：辻幸恵・梅村修・水野浩児（2009）『キャラクター総論－文化・商業・知財－』白桃書房。 池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩（2010）『マーケティング』有斐閣。</p>

筆記専門科目	入試案内
<会計学系>	
財務会計論	<p>下記の参考文献を基に、発生主義会計の理論、資産・負債の認識および測定の理論につき、基礎的な内容を問います。</p> <p>参考文献：藤井秀樹(2017)『入門財務会計』第2版、中央経済社。</p>
管理会計論	<p>管理会計における基本的な考え方や、管理技法に関して説明ができるかどうかを問います。計算問題を、問うことはありません。</p> <p>参考文献：櫻井道晴(2015)『管理会計』第6版、同文館出版。 吉田康久(2016)『管理会計基礎論』中央経済社。</p>
<経営科学系>	
経営科学	<p>オペレーションズ・リサーチの基本的理論を理解し、経営問題の定式化および解法についてどこまで使えるのかを問います。</p> <p>参考文献：長畑秀和(2002)『OR へのステップ』共立出版。</p>
システム分析論	<p>企業のマネジメントシステムの問題点をデータ解析で明らかにし、改善策を考えます。</p> <p>参考文献：今枝昌宏(2016)『ビジネスモデルの教科書』東洋経済新報社。 一般社団法人ビジネスモデルイノベーション協会(2017)『BM 事例集 50 選』</p>
応用社会システム論	<p>コンピュータシミュレーションにおける基本的なモデル化と技法についての理解、およびその具体的な応用例や限界について説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：伊藤俊秀・草薙信照(2006)「コンピュータシミュレーション」、オーム社。</p>